



建築人 11

2020

大阪ホンマもん



建築人

11
2020

目次

2 大阪ホンマもん

4 インフォメーション・事業案内

6 Gallery 建築作品紹介

CROSS PARK

設計 HAMADA DESIGN 濱田猛 (基本・実施設計)

京都工芸繊維大学仲研究室 (基本設計)

施工 三和建設

7 動静レポート

9 記憶の建築 松隈 洋

京都ドイツ文化センター 一九八三年
ドイツ的な重厚さと温かみ

10 理事会報告 建築相談室から 編集後記

ひとのおもいがあつまる

副会長 濱田 徹



本号が皆様のお目にかかる頃には十月十七日開催の「おおさか建築祭2020」の成功が話題になっていることと思います。今年度は感染防止のため、建築士会主催の「人が集まる催し」はこれまでほぼ全滅状態でした。近畿二府四県の建築士が一堂に集まる「近畿建築祭」の担当士会として、中止も含めどうすべきかという議論が幾度も重ねられました。

その結果、少人数リアルとリモートのハイブリッド開催の方針が決まり、士会一丸となって新たなチャレンジに力を尽くしました。例年なら不可能だった近畿遠隔地はもとより、全国の建築士会会員のオンラインによる参加も可能となりました。

そして何より心強く喜ばしく感じたのが、コロナ禍にも拘らず、数多くの建築関連企業の皆様から快く協賛頂いたことです。そこにはこの危機的状況下、建築に関わる同じ仲間として、ともに力を合わせて建築界を盛り上げて行こうという思いがあります。

物理的に人が集まらなくても、人の強い思いの結集で、新しい形の試みが、しかもこれまでに無い付加価値を持ったイベントが実現できるのです。この実績と経験はアフターコロナではデジタル力も含め、大阪府建築士会の更なる大きなパワーとして、必ずや生きてくると確信しています。

大阪ホンマもん解説

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

人口八二万を抱える堺市には世界に誇れる巨大古墳群がある。特に北部に位置する百舌鳥古墳群は日本を代表する古墳群で、現在も四四基が残っている。その中でも日本最大の前方後円墳である仁徳天皇陵古墳の人氣は凄い。二〇一九年には、ユネスコ世界遺産委員会で大阪初となる世界遺産に登録された。その仁徳天皇陵古墳の東側広がる住宅街に建つ洋館「旧是枝近有邸」を紹介したい。

元々この地には数多くのため池があり、医師の是枝近有氏が、相賀池というため池に突き出た半島状の場所に自宅兼診療所を計画した。是枝氏がコレクションしていたドイツの絵はがきをモチーフに自らが設計し、施工は患者であった宮大工の村田元蔵が請負った。規模は四階建てで、木造により、昭和六年(一九三一年)に建てられた。

四方対称形のファザードで構成され、中央部には展望台が設けられた。角を丸められた外壁は、人造石を洗出した左官仕上げとされ、特色ある突き出したベランダを支える二層のコリント式の柱を含め、洋館として一際目立つ意匠とされた。

残念ながら昭和四二年(一九六七年)には、ため池が埋立てられ、周囲の宅地開発により一般的な住宅街となった風景に少し寂しい感じがしないでもない。しかしこの洋館の存在は今でも別格で、平成一四年(二〇〇二年)には登録有形文化財に指定されている。古墳群と洋館の組み合わせを愉しめる器の大きさが、このまちの魅力でもある。

令和2年度地域文化財総合活用推進事業 「はじめよう、文化財の活用」全5回 11/28、12/12、1/23、1/30

毎回異なる国登録有形文化財を会場に、「建物の見学」や「ワークショップ」といった体験型の講座です。

- 11/28(土) 児山家住宅(堺市)：
「瓦の拓本を通して歴史を感じる」
- 12/12(土) 岩根家住宅(富田林市)：
酒蔵で楽しむ「弁土付無声映画ー浮草物語」
- 1/23(土) 藤井家住宅(東大阪市)：
「江戸の古民家で大阪欄間にふれる」
- 1/30(土) 源ヶ橋温泉(大阪市)：
「『能面』から見る能の魅力」

※時間 各13:30～16:30
募集 各24名
(事前申込制 先着順、単発受講可)
対象 中学生以上
参加費 各1,500円
申込方法
必要事項①～④を記入の上各回ごとに専用メールかFAXで申してください。
1週間前に参加証を発送予定です。
申込専用mail heritag@aba-osakafu.or.jp
Fax.06-6943-7103
①お名前 ②ご住所 ③メールアドレス
④携帯番号

ヒートアイランド対策技術公開セミナー 11/11

大阪府では、都市部の暑さ対策の最新動向や暑さから身を守るポイントについて府民の皆様を知っていただくため、ヒートアイランド対策技術公開セミナーを開催します。

- 主催 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム
共催 大阪府、日本ヒートアイランド学会(協力:大阪市)
日時 11月11日(水)13:30～15:00
場所 ウェブによるオンライン開催
(閲覧はZoomウェビナーを利用)
費用 無料
講演1
・暑熱環境に適応したまちづくりについて
三坂 育正(日本工業大学教授)
講演2
・作業現場における暑さ対策の実践事例について
赤川 宏幸(株大林組技術研究所主席技師)
申込締切 11月4日(水)
※詳細は大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムのHPをご覧ください。
問合 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム事務局
Tel.072-979-7062

2020大阪府デザイン・オープン・カレッジフォーラム 経営者なら知っておきたいデザイナーの使い方 11/25

- クリエイティブユニットTENTを迎え、時代の転換点に模索してきたことや、デザイナーの探し方、見分け方、頼み方、続け方や別れ方などについて、在阪企業のヒット商品開発事例を紐解きながらお話しします。
- 主催 大阪府産業デザインセンター、(公財)大阪産業局(大阪産業創造館)
日時 11月25日(水) 14:00～16:00
会場 大阪産業創造館4階イベントホール
大阪市中央区本町1-4-5
講師 株式会社テント(治田将之、青木亮作)
定員 70名
受講料 3,000円
申込方法 ウェブサイトから(サンソウカンのホームページでイベントNo31175で検索)
問合 大阪産業創造館イベントセミナー事務局
Tel.06-6264-9911

大阪府福祉のまちづくり条例が改正されました。

ホテル等のバリアフリー化に関する規定について、
①一般客室におけるバリアフリー化の促進、
②車椅子使用者用客室の更なるバリアフリー化、
③バリアフリー情報の公表

の内容をYouTube府公式アカウントを活用し、動画の配信を行います。
YouTube府公式アカウントのチャンネル内で「大阪府福祉のまちづくり条例の改正」を検索の上、ご覧ください。若しくは大阪府HPで「おおさかのあたりまえ」を検索、そのページ内のTopics「大阪府福祉のまちづくり条例の改正を動画配信しました!」をご覧ください。
問合 大阪府住宅まちづくり部建築指導室
建築企画課
福祉のまちづくり推進グループ
Tel.06-6941-0351 内4331・4332

知らない間に消防法違反に!? ～大阪市消防局からのお知らせ～

新たにテナントが入居したり、テナントが入れ替わったり、あるいは建物自体を増改築した際に、所有者の方が知らない間に消防法違反となってしまうことがあります。新しくテナントを入居させたり、建物の増改築を行ったりする場合は、事前に消防署にご相談いただき、防火対象物使用開始(変更)届出書等の必要な届出を行ってください。
問合 大阪市消防局予防部予防課査察担当(第1査察)
Tel.06-4393-6354

池田市準防火地域の指定区域の拡大について

池田市では都市の不燃化を促進し災害に強い市街地の形成を図るため、準防火地域の指定区域の拡大を計画しています。同地域の変更案について、パブリックコメント手続と住民説明会を実施します。
パブリックコメント：
11月9日(月)から30日(月)(必着)まで
住民説明会:11月15日(日)10:30から、
11月18日(水)19:00から
池田市役所7階大会議室
問合 池田市まちづくり推進部都市政策課
Tel.072-754-6262
E-mail t-seisaku@city.ikeda.osaka.jp

Others

その他のお知らせ

堺歴史文化景観まち歩き 3/28 CPD3単位

世界文化遺産百舌鳥古墳群を専門家と一緒に古地図と比較、歴史文化を学び、景観写真を撮影し、「堺」のまちを体感します。

- 主催 堺ユネスコ協会(大阪地域貢献活動助成事業)
協力 建築士の会「堺・高石」
後援 堺市
日程・コース
3月28(日) 世界文化遺産百舌鳥古墳群コース
申込 2021年1月4日～3月12日
時間 13:00～16:00
説明 元堺市博物館学芸員 井溪 明
定員 30名(定員に達し次第締切)
参加費 500円(青少年は無料、15名まで)
問合 NPO法人すまいるセンター(堺ユネスコ協会事務局)
Tel.072-299-2323

懐かしい学校建築の幻燈上映会 11/21

それぞれの時代の学校建築を幻燈で見ながら建築の面白さを考えてみたいと思います。
日時 11月21日(土) 11:00～
会場 堺市立東図書館(北野田駅前)
申込 不要(参加自由)
講師 明治建築研究会 代表 柴田正己
問合 明治建築研究会
Tel.090-4289-1492

建築レクチュアシリーズ217 12/18

大阪を拠点に活動を行う2人の建築家、芦澤竜一氏と平沼孝啓氏が1組のゲスト建築家をお呼びして、年に7回開催する建築レクチュアシリーズ。建築家としての作家的な思想をお聞きしながら、作品づくりの手法や建築へのアプローチなどを探ります。今回のゲストスピーカーは安藤忠雄氏です。
日時 12月18日(金) 19:00～20:30
(開場18:00)
ゲストスピーカー 安藤忠雄
会場 グランフロント大阪北館
4階ナレッジシアター
大阪市北区大深町3-1
入場料 1,000円
定員 381名
申込 ウェブサイトより要申込
https://217.aaf.ac
問合 (NPO 法人)アートアンドアーキテクト
フェスタ
E-mail info@aaf.ac

Administration

行政からのお知らせ

ビュースポットおおさか発掘・発信プロジェクト 第2回ビュースポット募集

世界に誇れる大阪の魅力ある景観、きらりと光る個性豊かで多彩な大阪の景観を美しく眺めることのできる場所(ビュースポット)を、一般からの募集により発掘し、「ビュースポットおおさか」として選定したものを発信していくことで、府民・事業者・来訪者の方々に大阪の景観に興味をお持ちいただき、府域全体の良好な景観形成を推進していこうとする取り組みです。
募集期間 9月14日(月)～12月18日(金)
募集するビュースポット、応募方法等詳細は、以下のHPをご覧ください。
HP [「ビュースポットおおさか」検索](#)
問合 大阪府住宅まちづくり部建築指導室
建築企画課調整グループ
Tel.06-6210-9718

Sponsorship

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離間距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞ活用ください。

(業務内容)

耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等
(対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。

(会員特典)

申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和2年度建築士定期講習

12/16、2/9、2/17、3/24、3/25、3/31
CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成29年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講習

日程・会場・定員

12/16(水)	大阪国際会議場	200名
※2/9(火)	大阪国際会議場	200名
2/17(水)	大阪国際交流センター	120名
3/24(水)	大阪国際会議場	200名
3/31(水)	大阪YMCA会館	120名

▼DVD講習

日程・会場・定員

※3/25(木)	大阪府建築士会	20名
----------	---------	-----

時間 9:15～17:00(各講習日共)
受講料 12,980円(消費税含。事前振込)
申込書配布場所

大阪府建築士会及び大阪府建築士事務所協会事務局又は、建築技術教育普及センターHPからダウンロード(平成29年度受講者には、直接申込書を郵送しています。)

申込方法

上記事務局へ持参又は簡易書留による郵送。
受付場所(送付場所)

※印の日程 大阪府建築士会事務局
※印以外の日程 大阪府建築士事務所協会事務局

建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。

注)各回定員に達し次第、受付を終了します。

令和2年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
11/11、1/26、2/19、3/10 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立ちますので、ぜひご受講下さい。

日程 令和2年11/11(水)
令和3年1/26(火)、2/19(金)、3/10(水)
時間 8:55～17:00
会場 大阪府建築士会会議室
定員 各回20名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円
申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

大阪府知事指定講習 2020年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》

12/1・1/21 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日程 ①12月1日(火)
②2021年1月21日(木)
時間 10:00～15:50
会場 大阪府建築健保会館 6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 各40名(定員になり次第締切)
受講料 会員5,000円 会員外9,000円
テキスト代 7,300円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)
※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込願います。その際振込手数料もご負担願います。

大阪府知事指定講習 2020年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《限界耐力計算法》

2/3 CPD6単位

既存木造建築物の限界耐力計算法による耐震診断は、一般診断法が建物の強度を評価するのに対して、建物の強度だけでなく、減衰性能も評価することができる診断法です。この機会に限界耐力計算法の技術を修得され、今後の業務に活用されますようご案内いたします。

日程 2021年2月3日(水)
時間 9:30～16:00
会場 大阪府建築健保会館 6階ホール
最寄駅 地下鉄「谷町四丁目」下車
定員 40名(定員になり次第締切)
受講料 会員6,000円 会員外8,000円
テキスト代 4,000円(大阪府木造住宅の限界耐力計算による耐震診断・耐震改修に関する簡易計算マニュアル)
※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込願います。その際振込手数料もご負担願います。

既存住宅状況調査技術者講習 (更新講習)

12/22、2/8、2/25 CPD各2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士のみに認められる業務です。2017年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、当講習をご受講ください。

▼更新講習(DVD+対面講習)

日時 12/22(火)、2/8(月)、2/25(木)
13:30～16:50
会場 12/22 大阪国際交流センター
2/8、2/25 大阪府建築健保会館
定員 12/22 100名
2/8、2/25 各50名
(定員に達し次第締切)
受講料 郵送申込17,600円
WEB申込17,000円

▼詳細・申込

日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

都市災害であるCOVID-19の教訓を縮災に活かす

11/13 CPD2単位予定

関西大学社会安全学部特別任命教授 河田恵昭氏を講師にお招きし、新型コロナウイルス感染症拡大を都市災害とみなすことによる種々の解析結果を応用し、首都直下地震や南海トラフ巨大地震が国難災害とならないための縮災の具体的な内容についてご説明いただきます。

日時 11月13日(金) 13:55～16:00
会場 大阪府建築健保会館 6階ホール
定員 70名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員2,500円
後援団体会員3,500円
一般4,500円

建築基準法同大阪府条例 質疑応答集 解説講習会

11/18 CPD3単位

「建築基準法及び同大阪府条例質疑応答集」が9年ぶりに改訂することになりました。建築基準法は平成30年の改訂を含めた度重なる改訂、さらなる性能規定の導入により、複雑なものとなっております。

本講習会では大阪府内建築行政連絡協議会より説明者を招いて、改訂事項を中心に説明をしていただきます。

日時 11月18日(水) 13:25～16:30
会場 ドーンセンター(大阪府立男女共同参画・青少年センター)
定員 250名(定員に達し次第締切)
受講料 主催団体会員8,000円
後援団体会員9,000円
一般10,000円
※受講料は書籍代金を含みます。

建築士の会いずみ野 テーマ別ワンコインセミナー 「防水改修」

11/25 CPD2単位(予定)

官民とも既存ストックの利用推進が提唱される中、近年は台風や地震等の自然災害が相次いでいます。雨水を屋内に漏らさないという、建築物として重要かつ基本的な性能「防水」について、講師を田島ルーフィング株式会社様にお願いいし、特に改修工事にスポットを当ててセミナーを開催したいと思います。

日時 11月25日(水)
18:50 集合
19:00～20:30 セミナー
会場 岸和田市立浪切ホール 研修室1
定員 25名(定員に達し次第締切)
参加費 会員・会員外とも500円
学生無料(※学生証提示にて)

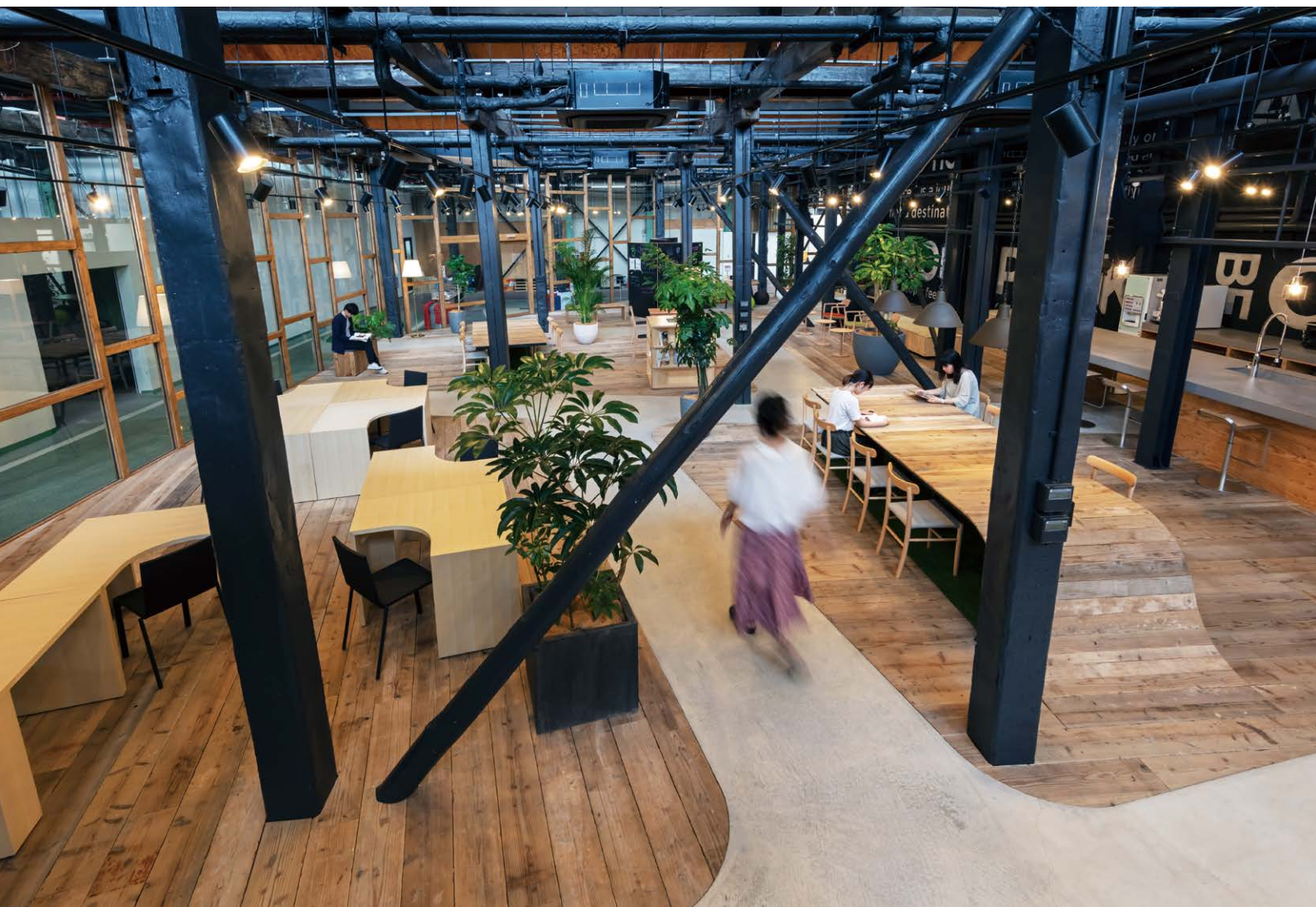
建築士の会「堺・高石」カフェ (a round table talk)

11/27 CPD2単位

地域の建築士をはじめ様々な方が集まり、様々なテーマで情報交換を行うセミナーです。ぜひご参加ください。

テーマ 持続可能な開発目標(SDGs)の内容と取組～SDGsというレンズからなにをみる～

日時 11月27日(金) 18:15～19:45
会場 堺市役所本庁本館 地下大会議室
定員 15名(定員に達し次第締切)
参加費 会員300円 会員外500円
学生5名まで無料
申込締切 11月13日(金)



かつて機械製作のために使われていた築100年の木造工場を、社員同士の交流スペースとしてコンバージョンしました。計画のポイントは「公園みたいなオフィス」。既存の木柱（200mm×200mm）を公園内の樹木と見立て、その合間を路地が行き交うことで多様な居場所が生まれる仕掛けです。会議をしたり、プレゼンをしたり、時には一人で集中したり。一つの空間で様々な活動が同時に行われます。まさしく昼下がりの公園のようです。木造工場の中に突如現れるこの空間は、他の部分と、あみだくじカーテンウォールで柔らかに仕切られています。ノコギリ屋根から差し込む光は、まわりの空間にとって公園の木漏れ日です。

所在地：大阪府大阪市
用途：事務所
竣工：2018.05
構造規模：木造 平屋建
延床面積：346.88㎡
写真：笹倉洋平

動静レポート

会長動静

- 10/ 5 千葉県建築士会名誉会長来会
- 10/ 6 大阪府収用委員会
在阪建築 15 団体午餐会
おおさか建築祭事前記者会見
- 10/17 おおさか建築祭
- 10/16 運営委員会
- 10/21 理事会、正副会長会議

運営部門

一級・木造建築士設計製図試験を実施

令和 2 年の一級及び木造建築士設計製図試験は、台風 14 号の影響が心配されましたが、無事に 10 月 11 日全国一斉に実施され、大阪では大阪経済大学で本会が運営を担当し実施しました。全国の受験者数は、一級は 11,035 名で、昨年に比べ 884 名の増加、木造は 338 名で、19 名の減少でした。大阪では、一級は 925 名、木造は 41 名で、昨年に比べ一級は 59 名の増加、木造は 1 名の増加でした。一級の合格発表は 12 月 25 日の予定で、今年の試験から実務経験が不足でも受験が可能となり、免許登録時に必要とされる実務経験の有無を審査します。

社会貢献部門

住宅ファイル制度普及に向けた取り組み

住宅ファイル制度は（一社）大阪府宅地建物取引業協会、（公社）全日本不動産協会大阪府本部、（公社）大阪府不動産鑑定士協会等が共同で設立し運営している制度です。この制度では既存住宅の品質、適正価格等の情報をまとめて報告書を作成し、住宅の売買時に開示してスムーズな取引をサポートするもので、このほど運営団体から本会に対して、同制度への協力要請がありました。建築士の役割としては、住宅売買時の既存住宅状況調査や瑕疵保険付保調査の実施、補修見積作成、耐震診断及び補強計画作成等の業務が考えられます。本会はいずれの運営団体とも、団体間の相互協力協定を締結しており、住宅ファイル制度についても全面的に協力する方針です。協力内容や方法等の詳細につい

ては今後、本会インスペクション委員会を中心として協議を進めて行く予定です。

社会貢献部門

既存住宅状況調査技術者講習の開催状況

既存住宅状況調査は建築士の上に認められた建築士業務で、建築士会では（公社）日本建築士会連合会が講習実施団体として国に登録し、全国 47 建築士会がそれぞれの都道府県で実施運営をしています。既存住宅状況調査技術者は 3 年に 1 度更新することが法令で定められており、今年度は 2017 年度の初回の講習から 3 年経過し、初回に受講された方は資格の有効期限を迎える更新年となっています。本会では新型コロナウイルス感染防止対策を行って、9 月～2 月にかけて毎月更新講習を開催する予定で、これまで 93 名の方が受講され、前半はすでに満席の日程もあり盛況です。後半はまだ余裕のある日程もありますので、対象の方はぜひお早めに受講下さい。また、新規講習は 9 月～11 月に本会議室にて毎月開催しこれまで 35 名の方が受講されました。

研修部門

建築基準法・府条例質疑応答集の発刊及び解説講習会の開催

建築基準法等の諸規定を熟知し解釈することは、近年の度重なる改正や建築物の多種多様化にともない難しいものとなっています。

法律を正しく理解していただくための一助として、9 年ぶりに改訂作業を進めておりました建築基準法及び同大阪府条例質疑応答集改訂第 7 版がこのほど発行されます。本書は、府内特定行政庁で構成する大阪府内建築行政連絡協議会が法改正の対応をはじめ、法解釈や運用などの取り扱いの統一化を目的に、法の個々の条項について Q & A 形式でわかりやすく解説した建築申請の実務書で、平成 2



年に初版を発行して以来、行政担当者及び建築実務者において重要なものとなっています。

発行に先駆け、本書をテキストとした解説講習会を、講師に行政担当者をお招きして、11 月 18 日（水）にドーンセンターにおいて開催します。なお、本書の販売については 11 月下旬を予定しており、販売開始となりましたら、本会ホームページにてご案内します。

研修部門

建築士定期講習の開催状況

本会と（一社）大阪府建築士事務所協会が運営する建築士定期講習は、新型コロナウイルス感染症拡大による国土交通省の判断により、前年度 3 月の 2 回の講習が中止となりました。

令和 2 年度は受講者全員の検温や収容率を 50% 以下とするなどの感染防止対策を行って、7 月から令和 3 年 3 月末まで、延 24 回・定員 2,660 名で実施を予定しており、10 月 15 日までに 9 回実施し、749 名の建築士が受講されました。

今後、年度内に 15 回開催予定ですが、その内 7 回はすでに満席となっています。受講対象者の方で、申込がまだの方は、お早めにお申込みください。

友好団体

令和 2 年忘年懇親会及び令和 3 年新年交礼会の中止が決定

在阪 4 団体による忘年懇親会および在阪 15 団体による新年交礼会について、長引くコロナ禍の状況を見据え、毎年恒例となっている両行事の開催の是非について、それぞれの主催団体の代表が集まり協議を行いました。その結果、各団体ともにコロナ禍によって事業や行事も満足に実施できていない現状を鑑み、また府のイエローステージの要請に照らして、感染リスクを避けるために、いずれの行事も中止することと決定しました。

会員各位におかれましては、年末年始恒例の大切な団体交流の行事ではありますが、諸事情をご高察のうえ、ご理解賜りますようお願いいたします。

ユーザー対象の設計相談
住宅の設計者問い合わせ に対応する

登録者募集

(公社)大阪府建築士会 社会貢献部門 委員会

“住宅を設計する仲間達”

登録者の個人ページ・・・専用のホームページ内に作成可
建築士リスト・・・数カ所の機関に配架し、広報活動を展開
設計相談・設計例展示・・・大阪市立住まい情報センター等

専用ホームページ www.jutaku-nakama.com/
登録・問合せは (公社)大阪府建築士会 隅原まで
06-6947-1961 info@aba-osakafu.or.jp

住宅を設計する仲間達 建築士 リスト 2019-20

家づくりの

『住宅を
大阪府建
が得意な建築
あなたにピッタリ
お問い合わせください』

公益社団法人 大阪府建築士会
JUTAKU NAKAMA.COM

● トップページ

● 住宅を設計する仲間達とは

● 建築士に任せるメリット

● 具体的な流れ

● まんが ～家作りストーリー～

● 土地の選び方

● 住宅ローンについて

● 建築士を探す

建築士に任せるメリットは何?

お知らせ

■ パネル展示&セミナー@住まい
セミナー 3月6日

■ 「建築家とつくる」

■ パネル展示

■ 「建築家とつくる」

■ パネル展示&セミ

ホームページの
抜粋版です

家づくりは、熟練の建築士選びから。

「住宅を設計する仲間達」は、住宅を設計するプロ（建築士・建築設計事務所）の集まりです。3,000人が在籍する公益社団法人大阪府建築士会が、住宅一般の質の向上と建築士の業務に対する理解を深めることを目的に、平成8年に「住宅を設計する仲間達」を創設しました。

当サイトでは、作品展や住宅設計の無料相談などの企画を実施しています。建築士会事務局の案内など、お気軽にお問い合わせください。このサイトは、家づくりの参考に、ぜひご利用ください。

住まいは百人百様、それぞれの家族の生活と個性に合った家づくりが大切だと考えます。家族各々がのびのびと心地よく暮らせる家、光や風、自然の恵みを十分に感じられる家、いつまでも新鮮で飽きのこない家、安全で安心して暮らせる家、などをテーマに楽しい家づくりを心がけています。

都市の中でも光と風の通る健康的な家づくりをしたい。設備は最小限、空間は最大限をモットーにしています。家を作ることは、人生の中でそんなにあることではない大きな創造物をつくること。子育てといっしょでおおらかに、かつ真剣に取り組む長い年月かけて上手に育てていく事のできる様な住宅創りを考えています。



二〇二〇年は、世界中を突然襲った新型コロナウイルスの感染拡大により、それまで当たり前だと思っていた私たちの身近な生活環境や移動の多い働き方が一変した。同時に、この未曾有の事態に遭遇したことによって、人と人がある場所や空間を共有し、そこで顔を合わせ、会話を交わすことが、いかに人間にとってかけがえのない行為であり、人と人との関係性を形づくる必須のものであることにも改めて気づかされたのではなからうか。そして、誰もがマスクを着用して人との距離を取り、会話することさえもままならない日常の中で、はたして建築に何を求めれば良いのか。今後、窓の開かない高密度な超高層ビルや、美術館、図書館、劇場、映画館、学校、病院、福祉施設など、多くの人が集まる建築はどのようなていくのだろうか。そうした意味で、ポスト・コロナの時代に説得力を持ち続けることのできる確かな建築とはどのようなものなのか。そんな原理的な問いを立てることが求められているように思う。

そして、逆に、そんな時だからこそ、時間の流れにびくともせず、泰然と穏やかな雰囲気を持つ建築に出会いたい。また、そんな場所を探し出す中から、これからの建築のありかたが見えてくるのではないか。今回は、そのことを実感するきっかけを与えてくれた京都の身近な建築を紹介したい。

京都ドイツ文化センターは、日本とドイツの文化、学術交流の拠点を目的に、ドイツ連邦共和国の公的な文化施設として、一九八三年に、京都市左京区の鴨川左岸の川端通りに面する静かな場所に建設された。その後、長く親しまれてきたが、二〇一一年に、ドイツで活躍する芸術家を招聘してドイツの文化芸術を発信するアーティス

ト・イン・レジデンスのヴィラ（別荘）として改修工事が施され、「ゲーテ・インステイトウ・ヴィラ鴨川」としてリニューアル・オープンして現在に至っている。

訪れると、あまり見慣れない形をした黒色の三角屋根と赤褐色のレンガの壁に包まれた重厚な建物が見えてくる。アプローチの露地を進むと、大きく育った櫟のあるフォールムと呼ばれるレンガ・タイルが敷き詰められた小さな広場を取り囲むように、手前側の一層の寄棟屋根の大会議室棟と、

記憶の建築

松隈 洋

京都ドイツ文化センター 1983 年
ドイツ的な重厚さと温かみ



西側から見た建物全景



カフェ・ミュラーのテラス席

念して、彼女の自伝的作品である「カフェ・ミュラー」と名づけられたカフェに改装されており、ドイツ製の器に盛られたドイツ料理を楽しみながら、庭園の緑を満喫できるようにになっている。軒先のテラスに出ると、心地好いスケールの中で、静かな時の流れを感じることが出来る。

残念ながら、筆者は、ドイツを訪れた経験がない。それでも、この建物の全体から器や照明器具、家具に至る隅々から感じるのは、ドイツ的な重厚さと温かさである。

四階建てのレジデンス棟が立ち、その間をホワイエが緩やかにつないでいる。

この数段下がったレベルに設けられたほど良いスケールのフォールムから、エントランスを中に入ると、落ち着いた雰囲気の中、奥の日本庭園が、目線の高さに広がる。また、もともと図書室として使われていたレジデンス棟の一階は、ドイツの著名な現代演劇の振付・演出家であるピナ・バウシュ（一九四〇―二〇〇九年）の京都公演を記

また、それは、時間の流れにビクともしない緻密で堅実なディテールによって生み出されていることがわかる。この建物はどのようにして設計されたのだろうか。

基本設計は、ドイツ連邦共和国の建設監督庁（BBD）によってベルリンで進められ、作成された基本構想の実施に向けて単身来日した担当の建築家は、日本側のコンタクトアーキテクトとして、満野久（一九三六年―）の主宰する設計事務所ゲンプランを選び、共同設計がスタートする。竣工後、

満野が記した文章によれば、基本設計は、「間仕切りから独立して細い円柱が控える、自由で潇洒な平面形をもつもの」であり、「躯体は徹底した外断熱方式、四階建ての外壁に断熱層を挟み、煉瓦半枚積みで積み上げられ」、「構造的にも工法的にも、われわれの常識を超えるものであった」という（満野久「建築的行為、建築すること」『新建築』一九八三年十一月号）。それでも、満野は、「激論を通じ、彼はわれわれの姿勢や技術力に信頼を抱き、われわれにはコンタクトアーキテクトとしての立場が見えてきた」と感じ、「最初のイメージに迫ること」、「建築をこの手に引き寄せること」を私たちに残された課題のすべてだと認識する。こうして、実施設計は、同じ文章の中で満野がやや硬質に書き留めた、次のような考えに基づいて進められていく。

「この計画において、イメージに迫る、とは、原初的な空間構成（建築的行為）に立ち合うことである。情緒的であり、同時に実体的なものとして経験される（空間的感情）―アトモスフィアを基本設計者と共に有しなければならない。そしてさらに、その世界の中に自分自身の（存在）を確かめねばならない。（中略）彼らの設計態度においては、〈機能〉と〈形態〉は人間的な思いやりのもとに関連づけられている。」

満野は、京都大学の増田友也に学び、卒業後も彼の下で設計実務に携わった経歴を持つ。この建物が高い密度と成熟したたがずまいを実現できたのも、深い建築思想に支えられているからに違いない。建築の〈原初〉に触れるためにも、ぜひ訪れてほしい。

松隈 洋

京都工芸繊維大学教授。博士（工学）。一九五七年兵庫県生まれ。一九八〇年京都大学卒業後、前川國男建築設計事務所に入所。二〇〇八年十月より現職。

理事会報告

文責 本会事務局

日時 十月二十一日(水) 十六時～十八時
場所 本会会議室

出席 理事四〇名 監事一名

(1) 九月の当期経常増減額は、収入二、四五八、七七三円、支出九、五九二、六九三円、差引△七、一三三、九二〇円で、本年度累計の収支差引一八、一九六、四七四円を報告して承認しました。

当期経常増減額は昨年同時期と比較して約四〇〇万円の減収で、コロナ禍の影響による事業活動の停滞の要因が大きい。前納制の会費収入及びCPD登録費は九割以上の納付があり、定期講習も開催時期を繰り下げて対応しているので影響は少ないが、それでも事業全体の規模縮小は否めず、公益目的事業では対予算比約三〇%と低迷しています。十一月下旬に受講料等のクレジット決済が稼働する予定であり、コロナ禍での下半期の事業活性化が望まれました。

(2) 本会のまちづくり・耐震・防災等の社会貢献活動は、府市町村の施策と連携することが効果的であることから、細則の会費第四条・第五条の「理事会が承認したとき」の内規として、行政職員の入会を促進し行政との関係を強化するため、入会金及び会費一年間を免除することを承認しました。なお、本規定で入会した行政職員には、いずれかの委員会に所属して活動をお願いします。(3) 二〇一八年から継続する泉佐野市の特定空家撤去工事業務委託で、今年度も二件の工事を実行することを報告しました。(4) 「おおさか建築祭」を役員・委員の協力で実施し、建築専門新聞社の紙面に大きく取り上げられたことを報告しました。

建築相談室から五十五

現地相談から1

文 橋本頼幸

本会の建築相談室では、有料相談として面接相談(時間五、五〇〇円)と現地相談(半日三五、〇〇〇円)の相談があります。昨年二〇一九年度は、現地相談四十二件、面接相談十九件ありました。今月から三月にかけて、その中でいくつか特徴的な相談をご紹介します。

隣地解体による振動

戸建て三階建て鉄骨造建物所有者から「隣地の商業施設(六階建て)を解体した。事前の調査は終わっており、レベル調査、写真撮影などを行っている。解体中に大きな音や振動があり建物への影響が心配なので、解体後の調査に立ち会ってほしい」との現地相談依頼がありました。一般の相談として対応し、相談委員会から二名、依頼者、隣地解体業者が手配した調査会社二名の立ち会いのもとひび割れ、レベルの確認を行なったようです。レベルや変動に大きな問題は無く、特に新たな被害がなかったため、現状を確認することで相談終了となっています。訪問業者にリフォーム依頼して不具合?

築二八年の木造戸建て三階建ての建物所有者の代理人である弁護士からの相談です。「訪問業者に自宅リフォームを依頼した。ベランダの補修不備、外壁高圧洗浄による欠け、目地シーリング未施工などがあり、確認してもらいたい」との現地相談依頼がありました。弁護士からの相談とのことでは本会の鑑定業務支援委員会に転送されました。鑑定業務支援委員会が担当を決め現地調査を行った上で、大きな問題はないことを確認して本件相談は終了しています。

ビルオーナーから調停中案件の相談

大阪市内の築約五〇年、鉄骨四階建てテナ

ントビルオーナーから、現在調停中の案件について現地相談依頼がありました。調停内容は一階テナントと雨漏れの有無及びその被害について争われているとのこと。調停中ということもありこの案件も鑑定業務支援委員会に転送されました。鑑定業務支援委員会が担当者を決めて現地調査を行い、土地・建物の複雑な所有形態、四階屋上からの著しい雨漏れなどを確認して依頼者に説明したとのことでした。

編集後記

若江直生

購入前に行ったインスペクション内容が信用できないとのこと。現地相談依頼がありました。これは一般の現地相談として担当者が配転され現地相談が行われています。現地相談では、インスペクション調査の概要や目的、チェックシートや調査内容はその会社独自のものになっていることを説明した上で、床下などを確認し、大きな心配はないことをお伝えしたとのことでした。

一階の部屋にカビが生える

新築入居後すぐに寝室として使っている一階洋室にカビが生えたので、問題がないか見て欲しいという現地相談依頼がありました。こちらも一般の現地相談として現地確認が行われています。相談建物は隣地にぎりぎり立っているため採光に有効な窓はなく、換気のための給気口もない。もともとガレージに面した窓はあるが部屋は納戸扱いになっている。排気はトイレとつながっている。これらのことから、換気不足であり換気がとれるように工夫をすることを提案して相談終了となっています。

ほとんどの現地相談は一回で終わります

ご紹介したように多くの現地相談は一度現地を確認して依頼者に相談することで解決することが多く現地一回で完了することが多いです。

建築人 11 2020

監修	公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門		
編集	建築情報部門『建築人』編集部		
部門長	飯田英二	(編集人代表)	
委員長	高原浩之		
編集人	梅田武宏	笠井志保	
	河合哲夫	茂籠一之	
	大松俊祐	橋本頼幸	
	牧野隆義	三谷勝章	
	武藤隆哉	若江直生	
事務局	山本茂樹	母倉政美	
印刷	中和印刷紙器株式会社		



淡路瓦イズム

『受け継ぎ拡げる』

株式会社タツミ

<http://www.tatsumi-garou.com/>

取材：河合哲夫／建築情報部門委員

400年の歴史を持つ淡路瓦は「淡路瓦イズム」を通し、これからの時代に社会から必要とされる瓦づくりに挑戦を続けています。今年も淡路瓦イズムを実践している会社を紹介します。

日本三大瓦の一つ淡路瓦は、淡路島南端の南あわじ市を中心に、静かで美しい風景の中で、現在はおおよそ70社の生産者が瓦づくりを行っています。

瓦の語源は、サンスクリット語で皿、鉢、頭蓋骨を意味する迦波羅力パーラ /kapala からとされる他、甲冑（伽和羅かわら）、亀甲（加宇良こうら）、屋根の皮（かわ）、土器（かわらけ／土から「カワル」ことを意味する）等、諸説あるようです。いずれも物質を覆うことでそれを保護する殻のような材料というところが共通しており、古くから私たちの生活とともにあったことが伺われます。

「瓦」は、現代では屋根瓦のイメージが一般的ですが、甍（せん）・甍（へき）と呼ばれる床、壁を仕上げる材料としても使われてきました。日本に仏教とともに伝わったとき

れる飛鳥時代においてもそうした使用がされていたことがわかっています。また、茶道においては、風炉とともに「敷瓦」や「前瓦」を使いますので、瓦は、その性能を活かした内外装材から言わばインテリア小物まで、日本の生活様式に欠かせない、まさに様々な物質を保護する素材として使われ、日本人の美意識の形成に大きな影響を与えてきたと言えるでしょう。

今回紹介する株式会社タツミは、鬼瓦や棟瓦を主力とする生産者ですが、淡路瓦の美しさと鬼瓦をひとつひとつ丹精につくりあげる技術力、一品生産から大量生産まで対応できる柔軟な生産性を活かして、内外装や外構の仕上げ材、家具やインテリア小物、記念品まで、瓦を現代のデザインやニーズに合わせることで、用途を拡大する取組みを続けて来られています。多くのアイテムの開発を精力的に手掛けて来られていますが、その中でも特にエクステリア向けの「イブシブロック」は、燻し瓦の簡素で洗練された素材感がモダンなデザインにフィットする素材として、多くの建築家やデザイナーに受け入れられ、年間1

万個の生産をするまで拡大しているとのこととです。

また、淡路島出身の著名プロダクトデザイナーと淡路瓦三社とがコラボレートする新しいプロジェクトも進行中。株式会社タツミでは、瓦と木を組み合わせた家具を担当されるということで、現在試作に向けて準備を進められており、来年の販売を目標に取り組みられています。詳しい発表は、もう少し先になるのですが、新たなチャレンジをやや興奮気味に語られる興津代表取締役社長の眼差しに、期待が高まりました。瓦の可能性を広げる挑戦はまだまだ続きます。

株式会社タツミの数々の魅力的な製品達は、よく整備された同社のホームページで見ることができます。

■淡路瓦のお問い合わせ先
淡路瓦工業組合
兵庫県南あわじ市湊134
Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030
info@a-kawara.jp
<http://www.a-kawara.jp/>





大谷さやまこども園 竹中工務店

つながりを育むこども園

園の教育理念である「命あることへの感謝」が体験的に養われるこども園として、他者や自然、社会とのつながりを育むことができる場の創出を目指した。

4棟から構成される建物群は、既存樹木を避けるように雁行し、敷地高低差に合わせて配置された。立体的な回遊性のあるデッキとブリッジで建物間をつなぐことで中庭が形成され、豊かな自然をより身近に感じられる構成となっている。全体は分節された切妻屋根で覆われ、つながりと一体感を表現するとともに、跳ね出した庇が重なり合い、内部と外部をゆるやかにつなぐ縁側のような中間領域を形成している。保育室は切妻天井で両端をサッシとして採光と通風に配慮し、園の活動を穏やかに表出させることで地域とつながる風景の創出を試みた。スケールや開放感、材料の異なる多様な居場所を提供することで、こども・家庭・地域・世代の交流が促進される場の形成を図っている。外構には、この地域の潜在自然植生を主体とし、季節をとおして匂いや味覚・触覚などの五感に訴えかける植物を植え、子どもたちの興味や学びを誘発することを意図している。この建築がつくり出す環境が、こどもたちの成長の一助となり、原風景として記憶に残ることを願っている。

撮影：古川泰造、國本暁彦 第12回建築人賞佳作受賞作品

■プロフィール

森山 悟（もりやま・さとる）
1988年 竹中工務店入社
現在 竹中工務店九州支店設計部設計部長
國本暁彦（くにもと・あきひこ）
1999年 竹中工務店入社
2006～7年 横総合計画事務所
現在 竹中工務店大阪本店設計部第5設計部門グループリーダー 副部長
ランドスケープ：荻野寿也 景観設計

■建物データ

建築主：学校法人大谷学園
設計：株式会社竹中工務店
施工：株式会社竹中工務店
所在地：大阪狭山市今熊1丁目50
用途：幼保連携型認定こども園
竣工：2019年3月
構造規模：S造 2階
敷地面積：4,111.99㎡
建築面積：1,348.28㎡
延床面積：1,981.22㎡

